

松くい虫及びナラ枯れ被害防止対策について（西北地域県民局の巻 その 44）

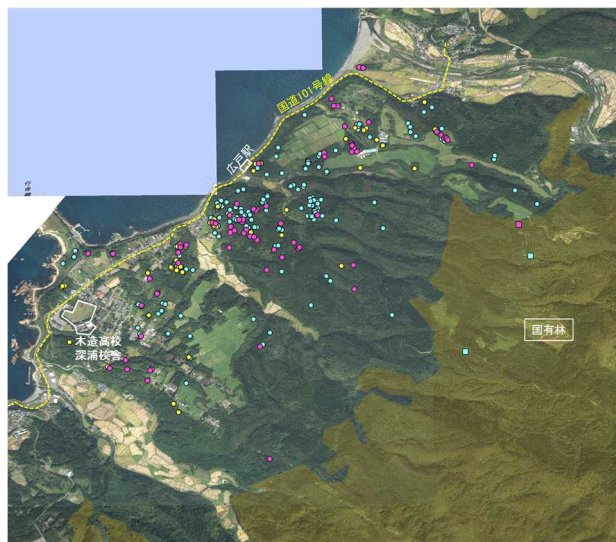
概要

管内では、松くい虫及びナラ枯れ被害が継続して発生し災害防止や水源かん養など森林の持つ多面的機能や枯死木による道路等のインフラへの影響が懸念されています。

松くい虫被害は、平成 28 年以降、深浦町広戸・追良瀬地区に止まっていますが、依然として継続発生しています。また、ナラ枯れ被害は、令和 2 年シーズンに前シーズンの約 3 倍となる 42,450 本（うち民有林 27,851 本）の被害木が確認され、これまでの深浦町に加え、鯉ヶ沢町や五所川原市等にも被害が拡大しています。

このため、被害木の早期発見と駆除の徹底を継続するとともに、ナラ枯れについては、発生程度に応じて、原因昆虫の誘引捕殺、更新伐等による被害を受けにくい森づくりの促進など、新たな対策も実施しています。

松くい虫被害発生位置・（R2）



H27～R2シーズン被害木本数（単位：本）			
シーズン	被害本数	備 考	
H27	68		
H28	69	うち国有林 2 本	
H29	30	うち国有林 1 本	
H30	52		
R 元	56		
R 2	84	うち国有林 1 本	

○：民有林 □：国有林

1.0km

ナラ枯れ被害発生位置図（R2）



R3年6月末時点			
シーズン	民有林	国有林	計
H28	23本	62本	85本
H29	354本	1,677本	2,031本
H30	1,301本	1,108本	2,409本
R1	8,710本	5,469本	14,179本
R2	27,861本 (うち中南管内 10本)	14,613本 (14本)	42,474本 (24本)

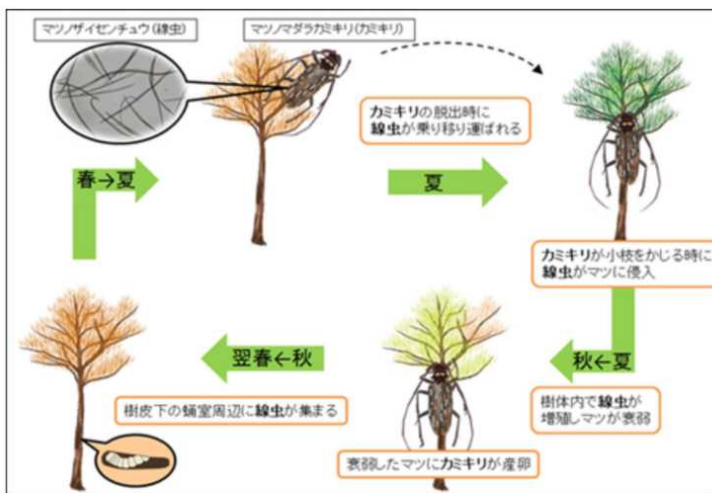
松くい虫やナラ枯れ被害ってなに？

おべ様：松くい虫被害ってさ、体が1mmもないマツノザイセンチュウ（以下、「センチュウ」という。）がマツの幹に入って、いっぱいが増えて、樹液が止まってしまうことであつという間にマツを枯らす伝染病なんだな。

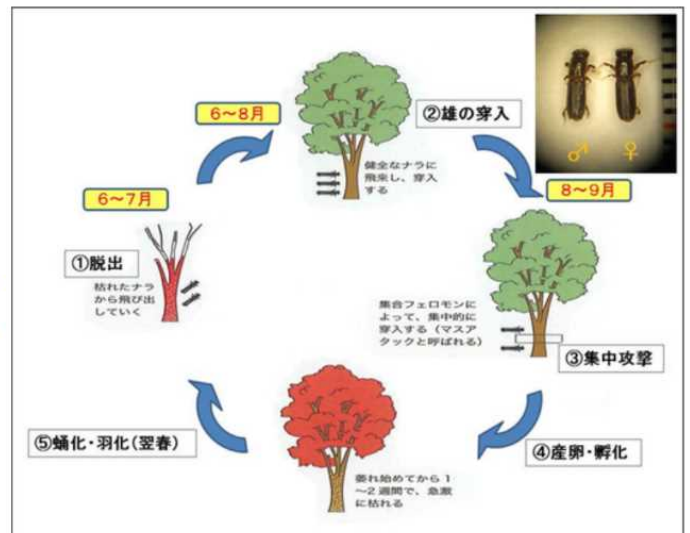
マツ子：ふ～ん、どうゆうふう被害が増えるの？

おべ様：被害発生の仕組みはさ、松くい虫が下の左側の絵、ナラ枯れが右側の絵を見ると分かるよ。

どっちの虫も昔から日本に住んでいて、センチュウは、明治時代に外国から日本に来てマツノマダラカミキリを使って増えてきたんだって。ナラ枯れの原因になっているカシノナガキクイムシはもともと自分の体の中に菌が居たんだけど、ナラ等の広葉樹は昔、燃料とかに使って太い木が無かったから被害も少なかったようだよ。



マツ材線虫病(松くい虫)被害の仕組み



ナラ枯れとカシノナガキクイムシの関係

私たちはどうしたらいいの？

おべ様：青森県マツ類及びナラ類の伐採・移動・利用に関する留意事項というお知らせが、県から出ていて、その中で松くい虫やナラ枯れ被害の拡大を防ぐ方法があるよ。

- ① 生立木等の伐採（6月～9月は媒介昆虫の活動期間なので伐採は行わないこと）
- ② 被害木等の市町村外への移動（移動先で新たな被害が発生するので市町村外へ移動しないこと）
- ③ 被害木の駆除処理（原則として5月末までに駆除処理を行うこと）
- ④ 他県の被害地域からの材の移動（他県でも被害が発生しているので持ってこないこと）
- ⑤ 枯れた木に関する情報提供（発見した際は、県、各市町村、森林組合等へ連絡すること）

マツ子：今日は色々教えてくれてありがとう。林業振興課の人たちは、私たちの身近にある木を松くい虫やナラ枯れ被害から守ってくれているんだね。

おべ様：ん～だべ～。林業は山に木を植えてから何十年もかけて手入れをしなければ、**健康な森林**にならないんだけど、枯れたりするのはあつという間なんだ。派手さは無いけど、これからも地味～に頑張っていくね。